

放課後等デイサービスアンケート結果について

令和4年11月に実施したサービス評価アンケートの結果を報告します。

職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。

事業所名 ひだまり北上中央

所長名 千葉昭好

環境・体制整備

- ・利用人数が多い時には、スペースや職員数に不足を感じますが、指導訓練室の外、相談室、食堂などを目的に合わせて活用する、事業所前の公園を使って戸外での活動を多く取り入れるなどの工夫で不足分を補っています。
- ・多様な活動を提供することによりカバーできると考えますが、集団やグループでの活動が苦手な利用者のための個別の対応を充実させる必要があります。

適切な支援の提供

- ・リタリコのスキルメニューから教材を抽出して取り入れるなど支援、活動の多様化を図り、長期休暇中にも実践的な活動を組み合わせて対応しています。
- ・朝会で確認した支援目標や支援の方法等を終会で振り返りを行い、職員が共通認識をもって取り組むようにしています。
- ・支援活動に関する各種記録がありますが、支援目標・方法・評価等に着眼した記録になっていない面があります。技能の向上が課題です。

保護者への説明

- ・契約時を始め必要に応じ運営規程、運営状況、支援内容等について説明をしていますが、利用が継続・長期になるに従い、保護者からの声が少なくなる傾向にあります。一層コミュニケーションに留意する必要があります。
- ・保護者支援や保護者同士の連携は、障害児支援にとって重要なことです。コロナ禍で保護者会活動も停滞していますので、伝え方を工夫するなどより積極的な対応が求められます。
- ・感染防止策を講じながら近隣高齢者への敬老訪問、交流を実施しました。地域と結びついた活動は事業を理解してもらうためにも有用であり継続していきます。

非常時の対応

- ・災害時の緊急連絡は保護者が一番心配する点です。事業所の機能等からの確かな対応は難しいところですが、日頃の情報提供を基本に連絡メールの設定を検討しています。
- ・事故防止、虐待・身体拘束禁止は委員会活動を通じて徹底して取り組みます。

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

配布 8 名

回収 8 名

		チェック項目	はい	こも も いいえ	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	1	0	自然に各部屋を使い分け、広く使うようになっていると思っている。利用人数によりスペースが確保できない場合がある。公園、ドライブなどで工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	0	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	1	0	朝会、終会で話し合い改善しているが、まだまだ不十分だと思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					外部評価は法人として行っていない。非該当。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	0	全員参加の研修は難しい。
適切 な さ	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0	0	リタリコの“スキルリスト”を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	0	意見をききながら立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	0	月ごとに活動担当を変えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	0	特に長期休暇中は実践的な活動を設定している。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	0	担当者が案を考えて活動を組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	0	朝会で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	0	終会で活動についての振り返りをし、情報を共有できるように日誌に記録している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	0	0	支援目標・支援の方法に着眼した記録となっていないものがある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	0	半年ごとにモニタリングを行い、計画の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	1	0	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	0	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	2	対象児はいないが体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	1	0	今後状況に応じて行っていく。 情報共有の回数が少ないように思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	0	0	0	対象者がいれば行う体制はある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	0	連携し情報交換している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	2	0	意図的な交流はないが公園で一緒に遊ぶことがある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	0	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	0	連絡帳や保護者が迎えに来た時などに口頭で伝えるなどしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	4	0	不十分だが徐々に形づくりをしていく。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	0	契約時等、必要に応じて行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4	0	0	コロナ禍で不十分。保護者同士の連携の必要性を理解する必要がある。出来ることがあれば支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	0	たよりやHPでお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	0	伝え方に工夫が必要(5W1H)。より積極的な取り組みにしていく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	1	0	コロナ禍にあり招待は自粛したが、近隣の玄関先での訪問交流は活動の一環として実施した。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	0	感染予防対応に関しては毎月の“中央だより”に提示して周知してきている。緊急時対応として連絡メールの整備を進めている。現状に即したマニュアルの改定作業中である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	0	事業計画に入れてある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0	委員会を通して行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	0	0	事業所として支援方針や具体的なやり方等の詳細を確認し、保護者に説明しておくべきだと思う。必要な利用者には行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	0	保護者からの情報提供・主治医からの指示書等がある場合はコピーを預かりそれに従う対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0	その都度状況等を確認検証し、対応策を話し合い報告書にまとめている。

放課後等デイサービスアンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしました事業所向けアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。

事業所名 ひだまり北上にこっと

所長名 島津 愛郎

環境・体制整備

定員超過の日は狭く感じる日もありますが、定員数に対してスペースや配置基準は満たしており、別棟のホールも活用し利用者が狭く感じないように工夫しています。玄関前に段差がありますが、車いすの方がご利用の時は持ち上げて対応しています。

職員配置については、基準を満たしているが、送迎が必要な学校数が多く時間帯によっては足りなく感じる時があります。

業務改善

サービス評価は年1回実施し、その内容については職場内で協議、検討しています。また、日頃の保護者との関わりの中で頂いたご要望や業務改善については、迅速に対応できるよう、責任者や管理者への報告の徹底と併せて朝礼や職員会議で職員間周知を行っています。

今年度もコロナ感染症対策により外部研修はほとんど参加できませんでしたが、オンライン研修で学ぶ機会を作ると共に、内容は、職員会議の場で内部研修として伝達しています。

適切な支援の提供

放課後等デイサービス計画については、アセスメントツールに加え、客観的なツール(リタリコ)を活用し、サービス利用計画や保護者のニーズを把握し作成しています。

標準化されたアセスメントツールは、使用しているツールはあるが十分に活用されていないため、リタリコの教材を活用してまいります。

活動は、動きのあるものと静かに集中できるものを1週間の中に組み入れています。同じ活動でも、個々の特性やスキルに合わせるなどの工夫をしています。

朝礼や業務日誌を活用し、支援の振り返りをしています。記録を残すことで、休みの職員も情報共有できる体制を整えています。

関係機関や保護者との連携

事業所主催の連携会議や、利用者の実習先の就労施設との情報共有を通して、関係機関や保護者と、課題や役割について確認を行っています。

北上市自立支援協議会の子ども部会に参加をし、行政や教育機関、障害福祉事業所等と地域の課題について協議する場として、今後も継続的に参加していきます。

保護者等への説明責任

保護者様から子育ての悩み等に対する相談については、個別に面談をするほか、送迎時や毎日の連絡帳を通して行ってまいります。

父母の会の活動の支援や保護者同士の連携については、残念ながらコロナ禍のため開催できておりません。

子どもや保護者様からの苦情については、上司に迅速に報告し、所長、主任・主査、児発管が協議の上保護者様に所長又は児発管が丁寧に対応しております。

地域との交流については、コロナ禍のこともあり現在行っておりませんが、地域住民を行事に招待する等地域に開かれた事業運営を図ってまいります。

非常時の対応

避難訓練は、年間計画通り、(火災、地震、地震からの火災、水害、AED 講習)を実施いたしました。職員だけでなく、利用者にも水消火器による消火訓練、防災 VTR やグループワークを通じた危険予知訓練を実施し、理解を深められたと感じています。

虐待防止に関する取り組みとして新人研修や、職場内の内部研修で周知し、一人で抱え込まないようになっています。

ひやり・はっとは、利用者同士のトラブルが多くみられました。その都度対応策を検討しているほか、月 1 回振り返りをし、常にリスク予測を心掛け、ひやり・はっを事業所全体のシステムの問題と捉え、全職員で改善策を検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	(3件)	(1件)	(2件)	・定員超過日があり狭いと感じる日がある。・時間帯によっては狭いと感じる。多い時は特に走り回らないよう声掛けや、座って取り組める教材を準備している。・コロナ対策として距離を確保すべき点ではやや問題があるが、個室や別棟を使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	(2件)	(2件)	(2件)	・利用人数が少ない時は良いが人数が多い時の送迎対応が大変。・時間帯によって少ないと感じる。事前に配車表を組み対策している。・5人体制で支援しているが見守りに手が行き届かないと感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	(6件)			・危険な箇所について見つけ次第対応している。・今は必要ないが車椅子を使用する利用者がある場合は配慮が必要。・トイレ介助が必要な時は広い方を使用、角にはクッションを付ける、段差が危ない場合は声掛けをしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	(6件)			・毎月の職員会議で改善した方がよい議題を出し合い話し合いを進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	(6件)			・年1回実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	(5件)	(1件)		・法人のホームページや広報で公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	(3件)	(1件)	(2件)	・今後検討
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	(6件)			・内部研修を月1回、外部研修は全職員が順に受けている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	(6件)			・アセスメント後情報共有している。客観的な資料(リタリコ)を目安に活用。・サービス利用計画や保護者のニーズを確認して作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	(4件)	(2件)		・使用しているツールはあるが活用が十分にされていない。・リタリコ教材を活用。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	(6件)			・担当制で計画し内容については複数で検討している。他職員と連携しながら実施。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	(6件)			・月の担当者によりその月々に特徴がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	(6件)			・長期休暇中は午前、午後にそれぞれ活動を行っている。・その日利用するメンバーを意識した内容にしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	(6件)			・利用者の課題に合わせて組み入れている。個別で行う場合は1対1で行っている。・個々に合わせ対応する事は個別特記として作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	(6件)			・朝礼等でその日の活動内容の確認をしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	(6件)			・打ち合わせの時間を設けていないが共有している。・支援記録に都度記入。次回実施時に前回の記録をみてそれを踏まえた物で作成。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	(6件)			・ケース記録をつけている。他に個別支援計画に関わる支援記録をつけている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	(6件)			・半年に1回実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	(5件)		(1件)	・ガイドラインの見直しなど勉強が必要。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	(6件)			・児発管や児童指導員等が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	(6件)			・適宜実施。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	(2件)	(1件)	(3件)	・対象者無し。（てんかん時の対応など勉強する機会があればよい）
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	(4件)	(1件)	(1件)	・今後行っていきたい。・現在利用されている園とそうなっていけたら良い。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	(5件)	(1件)		・今後必要になってく為対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	(5件)		(1件)	・保護者を通じて検査結果や支援方法についての助言の情報を頂いている。・何かあった際に連絡を取っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	(1件)	(1件)	(4件)	・コロナが落ち着かないうちは難しい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	(4件)	(1件)	(1件)	・管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	(6件)			・朝や帰り等玄関先での話が多い。個別に面談希望あれば実施し、事業所から声をかけるケースもある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	(3件)	(2件)	(1件)	・ペアトレではないが困りごとに対しての助言は行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	(6件)			・契約時に行っている。・回覧にて職員間でも共有。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	(6件)			・個別に面談をしたり、送迎時や連絡帳を通して行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	(3件)		(3件)	・コロナ予防の為開催されていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	(6件)			・あった際は上司に即報告している。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	(6件)				・毎月お便りを配布、ホームページを更新。
	35	個人情報に十分注意しているか	(6件)				・プロフィールを更新。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	(6件)				・伝え方に配慮が必要な方など職員間で情報共有している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	(1件)	(1件)	(4件)		・現在行えていない為、今後は行っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	(6件)				マニュアルを玄関に設置。感染症対策については配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	(6件)				月4回実施。(火災、地震、地震からの火災、水害、AED)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	(6件)				今年度は全体研修はなし。新人研修や、職場内の内部研修で周知。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	(3件)	(2件)	(1件)		該当なし。必要時には、ガイドラインに沿って行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	(5件)		(1件)		指示書はないが、保護者から文書をもらったり情報を頂いて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	(6件)				都度対応策を検討している。月1回で振り返りを行っている。